

Villamena, Francisco

Cris de Rome, [peint par] F. Villamena, [gravée par] C. David.

[S. l.], [s. n.], [ca. 1620]. 1vol. all plates, 6 leaves (copper mono.). 39×25cm.

<K382. 37-V> 文献番号 5-14

Hiler p. 881 Colas 3013

ヴィラメーナ, フランチェスコ 『ローマの呼び声』

呼び売りや喜捨を集める修道士, 乞食など6人の男の全身像を描いた6枚のビュラン彫りの版画からなる。それぞれが版画の下に2行から5行のラテン語の文句をとめない, いずれの版画にもフランチェスコ・ヴィラメーナの原画をもとにシャルル・ダヴィッドが版刻したことが図版の下方に記されている。1枚目は長い棒の先に小樽を結わえて右肩にかついだ男で, 棒を支える右手にカップと漏斗をもつ(下図)。ラテン語の文句から推測すると, 故郷に帰る従軍酒保だろうか。2枚目はケープ状のマントに上半身をくるんだ男で, 足元に鋤や鎌やスコップなどの農具が散らばり, かたわらで犬が寝ている。3枚目は右手に献金入れを持ち, 袖口の擦り切れた長衣を着た裸足の托鉢修道士で, 前後を二人の子どもがうつむいて歩いている。4枚目は破れたズボンをはき, 棒をついて歩いている盲人。5枚目も托鉢修道士で, 大きな結び目のある帯を腰に巻いているからフランシスコ会士であろう。長衣には頭巾が付き, 肩から袋をさげ, 手にはパンらしい塊りを入れた籠をさげている。6枚目は右手に桶をかかえ, 大地を踏みしめ, 雲が逆巻く大空に向かって叫んでいる男である。

原画を描いたヴィラメーナは1566年頃アッシジで生まれ, 1624年にローマで没したイタリアの画家・素描家・ビュラン彫り師である。版画師としての名声が高く, 過去の巨匠の作品や自身の原画により肖像画や宗教画を彫った360枚ほどの作品が知られている。彫版したダヴィッドは1600年頃パリで生まれ, 1636-38年頃に没したフランスの素描家・彫版師である。弟のジェローム・ダヴィッドとともにルイ13世治政下の画風を示している。優れた版画師であるが, 若くして亡くなり, ビュラン彫りの活動についてはよくわかっていない。なお本書の6枚の原画には別の二人の彫版師による左右が逆の版画が存在する。

(徳井)

